

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年4月9日 第71号

浜田市農林業支援センター

新体制スタート！みんなで一緒に頑張ろう！

春は別れと出会いの時期ですが、浜田市農林業支援センターにおいても4月の人事異動により職員に変更がありましたのでお知らせします。

浜田市の職員については、鎌原浩治係長が観光振興課に異動し、森脇修二係長が新たに配属されました。

新年度の体制は右のとおりとなりますが、業務が停滞することがないように取組んでいきたいと思しますので引き続き宜しくお願いします。

浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一

1. 退任者からごあいさつ



鎌原浩治（浜田市役所 観光振興課に異動）

3年9ヶ月という期間ではありましたが、皆様方にはお世話になりました。いろいろご迷惑をおかけしたこともございましたがこの場を借りてお詫び申し上げます。つぎの職場は観光振興課の石見神楽係ですので、今度は神楽をされている方にはまた、お世話になることが多くなると思しますので今後ともよろしく願いいたします。今までありがとうございました。

小川延夫（鳥根県庁 農業経営課に異動）

浜田には有機農業、産直流通など特色ある取り組みがたくさんあります。職場がかわりましてもお役に立てるように頑張りますので引き続きよろしく願いいたします。



2. 補助事業をご活用ください！

浜田市では、農作物を出荷されている方を対象とした補助事業を、以下のとおり継続しています。ぜひご活用ください。

★農業生産力等向上支援事業

補助の対象となる方は、農作物（種類は問いません。）を出荷している実績がある方です。次の補助金制度を利用できます。

- ・ 鳥獣被害防止施設整備事業（有害鳥獣捕獲用の檻又は防護柵等の助成）
- ・ 農業用施設整備事業（かん水施設、排水施設、防風施設等の助成）
- ・ 販路拡大事業（パッケージ等に使用するデザイン委託費、デザイン購入費等の助成）

○補助率 1/2、補助限度額 5万円

（お問い合わせ）

■農林課	TEL 25-9510	■農林業支援センター	TEL 22-3500
■金城支所産業課	TEL 42-1233	■旭支所産業課	TEL 45-1436
■弥栄支所産業課	TEL 48-2112	■三隅支所産業課	TEL 32-2803



浜田市農林課

センター長 大谷十三一

★係長 森脇修二
主任主事 中田健生
主任主事 稲田誠
主事 田原英一郎

★印が新しい
メンバーです

JA いわみ中央 営農経済部

審査役 山岡哲夫
職員 土井眞代

鳥根県西部農林振興センター（協働）

浜田地域振興課長 瀬尾光広
専門農業普及員（果樹） 梶谷則之
専門農業普及員（水稻） 岡田拓男
★専門農業普及員（野菜） 篠原昭司

3. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・中田)

認定就農者 誕生!

浜田市で、新たな認定就農者が誕生しました。認定就農者とは、就農するための計画を策定し、県知事から認定を受けるもので、各種補助事業や資金の貸付けを受けることができます。

このたび関係機関による地区審査会が開かれ、浜田市金城町久佐の清本香さんが認定就農者となりました。

清本さんは奥出雲町の出身で、ご実家が農家であり幼い頃から農業に関わる生活を送り、農業に魅力を感じるようになりました。その後、島根県立農業大学校(現農林大学校)を卒業し、浜田市の研修制度を活用されてきました。現在は、嫁ぎ先の金城町久佐において、施設野菜(トマト)と露地野菜(なす)を栽培するための準備を進めています。

清本さんは、JAへの出荷はもとより、地元の産直市場へのお荷も行い、地産地消にも取り組みたいと話されました。当支援センターでは、営農基盤が確立できるよう、今後も支援していきます。



● 認定農業者支援チーム (担当: 中田・稲田)

JALしまね青年研修



3月3日から6日間の日程で、島根県JAグループ主催による、次代の農業・JAづくりを担う人材の育成を目的とした「JAしまね青年研修事業」がありました。これは、県内の若い農業生産者とJA職員を対象とし、今回は、ベトナム及びカンボジアの海外研修に、金城町の認定農業者である藤若将浩さん、岡本健治さんが参加されました。

研修では、主に、日本と同じく米を主食とする現地の水田・畑及びスーパーマーケットの視察をされ、各地の現況を見て回りました。また、日本大使館や農業研究所を訪れ、現状の把握、日本(農業)との比較などの意見交換会があり、現地では、農薬の使用面において、農産物の安全安心にやや不安がある中、日本の農業技術をベトナム・カンボジアに伝えてほしいといった意見が多く聞かれました。

今回の研修を通じて、県外はもとより、滅多に訪れることのできない海外(農業)の状況を見られたことは、大変貴重な経験であり、今後の農業に生かしてほしいと思います。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 田原・森脇)

「アカメガシワ」にご興味ありませんか?



4月6日、金城町の集落営農組織「てごの里おぐに」にて、アカメガシワの定植が行われました。

アカメガシワはポリフェノール等の有益な成分を含有しており、機能性の高い茶の原料となります。また鳥獣害が無く、施肥・防除等が不要で管理が比較的容易であるため、遊休農林地の活用を目的として、浜田市では平成22年から各地で栽培を行っています。アカメガシワは最大で年3回の収穫が可能と言われており、4年目となる今年は木の生育が進んできたため、これまで以上の収量が期待されているところです。

栽培に興味をお持ちの方がおられましたら、当支援センターまでお気軽にご相談ください。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp